



議会報告をしている野本市議

野本 信正 (若葉区)

中広踏切(若松町)の改善へ 平成30年度からの計画に位置づけ

車が踏切内で交差した時、歩行者の通るスペースがありません。この危険な中広踏切の改善を求めた野本議員の質問に対して、市は「平成30年度から始まる実施計画へ位置づけを検討する」と答えました。

改善が急がれる中広踏切



モノレール設備更新に多額の費用 乗客を増やし経営の安定を

モノレールの乗車人員は、車両などの設備更新に、今後12年間に312億円が必要とされています。野本議員は、「乗客数を増やし収入増につなげ、経営の安定をはかれ」とただしました。

「沿線の人口増加が必要」市長答弁 駅周辺の開発で乗客4765人増加

駅から1キロ圏内の開発を可能とする条例の施行後、平成17年以降、モノレールの乗客は4765人増加し、駅から1.5キロ圏内への緩和が言われています。

野本議員は、手ぜまになっている千城北、小倉、桜木の各駅の駐輪場を広げるよう求め、市は「検討する」と答えました。



モノレールの車両を視察する野本市議

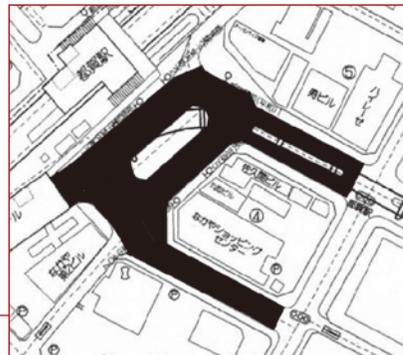
県庁駅から青葉病院までの延伸

県庁前駅から、大学病院・青葉病院まで延伸すると、乗客が1日8,800人増え、約80億円(25年間)の収入増と試算されています。

共同経営者であった千葉県が一方向的に撤退したために、計画は凍結されています。野本議員は、延伸するときは千葉県に応分の補助金を要求するよう市に求めました。

高齢者のモノレール利用にサービス改善を

何度も要求してきたお出かけフリー切符券の発売時間を早くすることや、敬老乗車券の復活など高齢者へのサービスを広げ、乗客を増やすことを提案しました。市は「モノレール会社と検討する」と答えました。



舗装道路が改修される
都賀駅ロータリー

意見書・請願などへの各会派の態度

(○=賛成 ×=反対)

件名	共産党	自民党	民進 未来	公明党	ネット
障害児者の生きる基盤となる「暮らしの場」の早急な整備を求める意見書	提出	×	○	×	
国内でのオスプレイの配備撤回を求める意見書	提出	×	×	×	
「共謀罪」の新設に反対する意見書	提出	×	○	×	
子どもの社会的養護検討委員会設置条例	提案	×	×	×	×
カジノを含む統合型リゾートの候補地申請・誘致しないことを求める請願	○	×	×	×	○
就学援助の入学準備金を3月支給にすることを求める請願	○	×	×	×	○

※意見書について、市民ネットワークおよび無所属議員は、議会運営委員会に委員がないため態度表明はありません。賛成・反対が同じ場合、委員長(自民党)による採決(反対)で、共産党提出の意見書は本会議に上程されませんでした。

舗装道路の改修

- 都賀駅ロータリーと信号までの道路
- 千城台西1丁目、バス停北1丁目付近
- 千城台南1丁目、バス停南1丁目付近
- みつわ台2丁目、老人ホーム信号～交番信号
- 若松町416番地若葉ハイツ前付近
- 大宮台すずかけ通り3丁目1番、2丁目13番地

若葉区の
事業予算
が決定

側溝改良工事

- 千城台東3丁目、千城台東第4公園前付近
- 小倉台1丁目、17・18・20・21番地
- 小間子町県道バス停藤池付近

学校の整備

- 加曾利中学校の受水槽改修工事

ご意見・ご要望はお気軽にどうぞ

市議会議員(花見川区) 寺尾さとし (3005) 49922	市議会議員(美浜区) 佐々木ゆうき (241) 1072	市議会議員(緑区) かばさわ洋平 (292) 7764	市議会議員(若葉区) 野本信正 (237) 9068	市議会議員(稲毛区) 吉田まさよし (256) 5897	市議会議員(花見川区) もりた真弓 (250) 9609	市議会議員(花見川区) 中村きみえ (275) 2470	市議会議員(中央区) ふくなが洋 (263) 4334

編集後記

今議会で、わが党議員が「福島からの自主避難者に支援の継続を」と求めました。東京電力福島第1原発事故で避難している方たちの「子どもへの影響が心配」「戻っても通える病院がない」「6年も放置した家に住めるのか」などの声を紹介しながら、事故の原因者・責任者として国と東電が責任を取るべきであり、一方的に避難指示が解除されても、戻れない現実と支援継続の必要性を訴えました。千葉市は、「市内の全自主避難者の住居は確保された」「新たな自主避難者も支援する」との常識的な対応を示しました。ところが、原発事故は終わったかのように、自主避難者は「自己責任」と言い放った今村雅弘復興相。心ない政治は許されません。